

---

皆様の想いと応援に支えられ、一年目がかたちになりました  
やさしさが、まちを変える力になる

# Annual Report 2024

町田いぬねこ守り手ネットワーク  
活動報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



いぬ・ねこ・人を繋ぐ...

町田いぬねこ守り手ネットワーク  
-Machida Inuneko Mamorite Network-

---

これまで私は、いくつかの保護団体での活動や、身近なボランティアの姿、ネットで発信される現場の声に触れる中で、「自分が目指したい保護活動のあり方」「支援のかたち」が少しずつ輪郭を持ち始めました。そして次の世代のために、いま自分ができることを形にしたい。そんな思いから“町田いぬねこ守り手ネットワーク”を立ち上げる決意をしました。

何から始めてよいか分からなかった当初、町田市地域活動サポートオフィスの皆さまには多大なご助力をいただき、「まちだづくりカレッジ」では、出会った仲間たちと共に、“たのしくも真剣な学び”を重ねる中で、団体運営の土台を築くことができました。

また、自然派くらぶ生活協同組合さんとの協働という大きな出会いにも恵まれました。「命を大切にしたい社会をつくりたい」というお互いの想いが重なり、今年度は、ペット防災セミナーを開催し、地域の皆さまに“備えるきっかけ”とともに、飼い主として“いざ”という時にペットを守り抜く力を育む時間をお届けすることができました。

このつながりは、当会の活動に大きな力と広がりをもたらしてくれています。

さらに、夏には43名の高校生ボランティア体験の受け入れにも挑戦し、「保護活動をもっと知りたい！」という熱い想いをまっすぐにぶつけてくれた学生たちの姿勢に、私たち自身もたくさん希望と勇気をもらいました。

私たちがこれから支えていきたいのは、犬猫のために行動しようとしているすべての方々、そして現場で日々、命と向き合い続けているボランティアの皆さんです。

現場には、善意だけでは越えられない壁——情報の偏りや制度の不足、孤立——に悩みながらも、それでも懸命に行動を続けている人たちがいます。保護活動をする人が、ひとりで抱え込まず、緩やかにつながり合いながら、無理なく動ける仕組みを整えていく。一枚岩のように、まるでひとつのチームのように支え合える——そんなボランティアの基盤を、町田から育てていきたいと考えています。

私たちの活動が、すべての“つながり”のハブとなり、小さな命のために行動する人たちを、そっと後押しできる存在でありたいと思います。

来年度も、一つ一つの「できること」を丁寧に積み重ねながら、飼い主のいない犬猫ゼロ、そして「助けられない…」という選択肢のない社会を目指して、仲間とともに歩みを進めてまいります。

皆さまのあたたかなご支援に、心より感謝申し上げます。

町田いぬねこ守り手ネットワーク  
代表 河底 有花

---

## この体験が、私たちの“原点”

保護活動を続ける中で、地域猫活動に取り組む佐藤さん(仮名)と出会いました。  
ある日、体調の悪い猫の相談を受けて通院に同行したところ、12～13才の老猫で**エイズと白血病の“Wキャリア”**であることが判明。口腔内の問題もあり、すぐにでも保護したかったのですが、白血病の感染リスクから保護場所が見つからず治療のみで外に戻すしかありませんでした。

猛暑のある日、佐藤さんから、脱水と肺炎で危機な状態の猫がいると連絡がありました。それは以前、保護が叶わなかったあの老猫——うに君でした。保護体制が整っていない中、私たちは迷わずレスキューを決断し、穏やかに過ごせる環境を整えて迎え入れました。佐藤さんも、たびたび会いに来てくださり、抱っこされたうに君は、とても嬉しそうな表情を見せていました。

そんな緊急保護からわずか1ヶ月。

長年、過酷な外の暮らしを生き抜いてきたうに君は、窓の外を静かに眺めながら、穏やかに、そしてたっぷりの愛情に包まれて旅立ちました。うに君のお骨は、今も佐藤さんのもとで大切にされています。

## ～うに君が教えてくれたこと～

この出来事を通して、「保護活動のかたち」を改めて深く考えるようになりました。

飼い主のいない犬や猫は、“誰のものでもない”存在だからこそ、“誰の責任でもない”で終わらせたくない——そう強く感じます。保護依頼をする人、命を預かる人、支える支援者たち…三者が、少しずつでも支え合える「繋がりのかたち」こそが、これからの保護活動の理想なのではないかと思っています。

近年、保護活動に関心を持つ人は増えていますが、現場にはまだ多くの課題が残されています。人に慣れていない子、成犬・成猫、ケガや障害のある子、病気を抱える子、そしてうに君のように感染症キャリアを持つ子たち——こうした譲渡が難しい子たちは、どうしても後回しにされがちなのが現実です。誰かが悪いわけではありません。それぞれが「今、自分にできること」を考えて動く中で、どうしてもレスキューが必要な子たちが取り残されてしまうこともあるのです。

それでも、そうした“難しい子”にこそ目を向け、深い愛情で向き合っている人たちがいます。私たちは、そんな方々を応援したい。もっと多くの人に知ってほしい。そして「**目立たないけれど、確かに命を支えている人たち**」の味方でありたいと願っています。

たった1ヶ月だったけれど——

うに君が教えてくれたことは、私たちがこれから「**何のために動くのか？**」をはっきりと示してくれました。

**この手は、命を包むためにある。**

**私たちはそう信じて、これから進んでいきます。**

# ＼町田いぬねこ守り手ネットワークとは？／

町田市で“飼い主のいない犬猫”を守る人たちの活動を支える「支援団体」です



## Vision（実現したい社会）

人と動物が安全に幸せに暮らせる社会  
「助けられない」という選択肢のない社会



## Mission（私たちの使命）

“飼い主のいない犬猫” 0（ゼロ）



## Value（私たちが大切にしていること）

### ◆ 見えない声に気づく、やさしさの感度

見過ごされがちな命に目を向け、声なき声を感じ取るまなざしを大切にします。

### ◆ 行動するやさしさ

「かわいそう」で終わらせず「私にできること」を一步に変える力を信じています。

### ◆ やさしさを“見えるかたち”に

セミナー、グッズ、キャラクター…さまざまな手法で命への共感を広げます。

### ◆ 人にも、犬にも、猫にも寄り添う

命を「種類」で分けず、どんな立場の存在にも対話と理解を大切にします。

### ◆ 人と動物が共に暮らす社会を育てる

子ども、高齢者、地域、市民…

あらゆる人と手を取り合い、共生の文化をつくります。

## おもなプロジェクト



1. 保護活動者を支える！（支援活動）
2. かわいそうな犬猫を救う！（ボランティア人材育成）
3. 正しい知識を知らせる！（普及啓発と教育）
4. 人とペットが幸せに暮らせるように…（情報発信）
5. 不幸な命を増やさない！（地域社会との協力、TNR活動）
6. 人と人とでつながりたい！（ネットワーク作り）

## 未来を描き、行動に移すための「道しるべ」

町田いぬねこ守り手ネットワークでは、活動の立ち上げにあたり、「まちだづくりカレッジ（町田市地域活動サポートオフィス主催）」にて、団体の未来像や取り組みの方向性をじっくりと整理し、事業計画としてまとめました。

この計画は、単なる目標の羅列ではなく、「どんな社会を目指したいか」「そのために、今何が必要か」を丁寧に考えぬいた私たちのビジョンの原点です。

## Vision（実現したい社会）

## 人と動物が安全に幸せに暮らせる社会

## 「助けられない」という選択肢のない社会



## このビジョンに込めた思い

- ・ 命の温度を社会に取り戻す
- ・ 地域での “つながり” を育てる
- ・ 一人で抱え込まない保護活動の仕組みをつくる

計画書はこちらからご覧いただけます

**▶事業計画書（PDF）を開く**

※まちだづくりカレッジでの学びを通して作成した内容です。

この事業計画書は、町田市地域活動サポートオフィスの「まちだづくりカレッジ」修了団体として公式サイト内でも紹介されています。

▶掲載ページ：<https://machida-support.or.jp/report/performance/collage2024/>



▶QRコードはこちら→

[illegible]

# ＼活動報告ハイライト＆事業概要（2024年度）／

私たちは、ただの支援団体ではなく…「やさしさの文化」を根づかせ、  
命の温度を社会に取り戻すことを目指して様々な活動をしています！



## 団体の立ち上げと基盤作り

- 2024年4月  
町田いぬねこ守り手ネットワーク結成
- 2024年6月～10月  
町田市地域活動サポートオフィス主催  
「まちだづくりカレッジ」参加  
※詳細な活動ビジョンは事業計画書にまとめています

### 小川高校ボランティア体験生の声

「犬や猫を守る活動をしている人がいると  
知り、自分もできることはしていきたい、  
と思った。」 —小川高校 体験生

「動物が好きな人、飼い主のいない犬猫を  
減らしたいと思っている人が増えてより多  
くの支援ができるようになったらいいなと  
思います。」 —小川高校 体験生



## 啓発と協働の展開

- 2024年7～8月  
小川高校のボランティア体験 43名を受け入れ
- 2024年12月・2025年2月  
「ペット防災セミナー」開催  
(自然派くらぶ生活協同組合との協働事業)
- 守り手オリジナル  
「飼い主証明書ブック」制作  
▲クリックしてお買い求めいただけます。

### ペット防災セミナー参加者の声

90%の参加者が「参加して良かった！」と回答  
—実施後アンケートより



参加してよかった！

無回答、普通など



## 地域イベントへの出展・協働事業

ハンドメイドグッズ販売の利益を支援に回します

- 2024年11月  
「まちだ動物愛護フェスタ」出展
- 2024年11月  
「まちカフェ！2024」出展  
(缶バッジWSは111名参加)
- 2025年3月  
「自然派くらぶまつり」出展
- 「2024年度ふだんの活動にプラスON  
交通安全・防犯協働事業」  
▲クリックしてご覧ください。

### まちカフェ 守り手のハンドメイド販売ブース



## 私たちの活動は、皆さまと共に進んでいます！

2024年度は、各イベントでのグッズ販売を通じて、多くの方に私たちの活動を知っていただくことができました。

ご購入いただいた皆さま、またこのような機会をくださった主催者の皆さま  
本当にありがとうございました。

| イベント            | 売上      |
|-----------------|---------|
| まちだ動物<br>愛護フェスタ | 9,400円  |
| まちカフェ！<br>2024  | 42,000円 |
| 自然派くらぶ<br>まつり   | 10,500円 |
| ペット防災セミナー<br>物販 | 3,700円  |



**2025年度、いただいたご支援を次の取り組みに活かしてまいります。**

- 認定保護活動者への支援
- 正しい地域猫活動の普及
- 難しい状況にある犬猫たちのための備え
- 命と向き合う教育活動の充実
- 「ひとりで抱え込まない」仕組みづくり など

**私たちの活動は、皆さまの「想い」によって支えられています。**

これからも、「飼い主のいない犬猫ゼロ」を目指して丁寧に歩んでまいります。  
引き続きのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



## ＼2025年度の取り組み予定／

### 小さな一歩を、確かな力に変えていくために

町田いぬねこ守り手ネットワークは、2025年度も「**飼い主のいない犬猫を救おうと、日々奮闘している人たち**」を支える活動が続けていきます。



#### ♡ 支える力

|              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| 支援活動の<br>本格化 | 資金、物資、広報面での<br>サポート体制を構築             |
| 「預かり部」<br>拡充 | 預かりボランティアの<br>拡充と育成を図り、<br>サポート体制を強化 |
| 広報強化         | NSや広報誌を通して、<br>支援の輪を広げる発信<br>を継続     |

#### 🐾 命に向き合うテーマ

|                          |                                         |
|--------------------------|-----------------------------------------|
| TNR、TNRA<br>地域猫活動の<br>促進 | 正しい知識の普及と<br>継続的な啓発                     |
| ペット防災の<br>普及             | ペットと飼い主の命を<br>守るための防災啓発と<br>定期的なセミナーの開催 |

#### 📖 次世代の育成

|             |                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------|
| 終生飼育の<br>啓発 | 高齢者のペット飼育継続<br>のサポート/飼えなくなっ<br>た際の引き継ぎ体制や、<br>相談先の整備 |
| 命の教育        | 小中学校での出張授業や<br>教材提供で動物を通じた<br>「命の大切さ」や共生の<br>学びを推進   |
| 学生協働        | 若い世代と「動物福祉を<br>どう広げるか？」一緒に<br>考える“伴走型”プログラ<br>ムを実施   |

その思い、命を守る力に。  
できることから、守り手に。



## “思い”を“力”に変えるしくみをつくるために…

“町田いぬねこ守り手ネットワーク”は、地域の保護活動者を支えることを目的に誕生しました。しかし、実際に支援を届けるには、「支えるための力」——つまり資金、人手、共感の輪——が必要です。現在の課題は、継続的に支援を行える体制をいかに築くかということ。そのため、今後は一方通行の“お願い”にとどまらず、支援してくださる方にも価値を届けられる活動を目指していきます。

たとえば、こんなかたちを考えています：



### セミナーの有料化

→「学び」と「支援」を両立する場として、参加者と守り手の双方が満足できる仕組みに。



### 支援つき商品の販売

→ハンドメイド作品や防災グッズなど、楽しみながら支援につながる商品を展開。



### 支援の“見える化”

→いただいたご支援がどんなふうにご利用されたのかを、SNSや冊子でしっかりお伝えします。

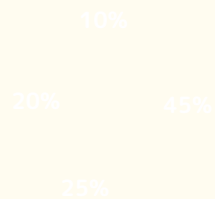
ご寄付は、「飼い主のいない犬猫ゼロ」を目指す活動と  
現場で保護に尽力する方々の支援に活用させていただきます。

人と動物が安全に、幸せに暮らせる社会  
「助けられない」という選択肢のない社会  
私たちは、そんな未来を目指しています。  
ご寄付・ご支援・ボランティアとして、  
あなたの参加をお待ちしています。

くわしい支援方法・ボランティア参加方法は  
こちらから＼公式サイトをご覧ください！／



人と動物が安全に幸せに暮らせる社会へ  
助けられない、という選択肢のない社会へ



町田いぬねこ守り手ネットワーク

Website : <https://mamorite.net/>  
Instagram : mamorite.network